

霧島市市民憲章等検討委員会作成 前文の解説

市民憲章等検討委員会でまとめられた霧島市の基本的視点に則り、大筋で霧島市の過去、現在、未来を綴りました。

大自然

まず私たちの住む霧島市の大自然の美しさ（北に霧島山、南に錦江湾と桜島山、その間に広がる豊穡な大地等）を讃えました。

過去

この地にはるか縄文の昔から人が住み、約9,500年の歴史を刻んで産業を興し暮らしを築いてきた私たち祖先のことを謳いました。

現在

次いで悠久の歴史を経て1市6町が合併して霧島市になったことを宣言し、その特徴と魅力を「限りなき可能性と魅力を秘めた」という1行で謳いあげました。

その特徴と魅力とは：

豊かな自然、生命体エネルギー、日本最初の国立公園、海拔0～1700mの地域多様性（地形、気候、農林業、生物相等）、多数の史跡（上野原、隼人塚、熊襲穴等）、南九州交通の要（空港、高速道路、鉄道）、観光、神話伝説、温泉、伝統産業（黒酢、焼酎、木工、錫器等）、先端技術産業（京セラ、ソニー等）、高等教育（2大学、1短大、1高専）等。

未来

最後にこれからの霧島市が目指す方向として、「人も地球生命体の一部である」という環境理念を掲げ、「共生と循環の地域社会」を目指すことを盛り込みました。

漢字

漢字の持つイメージの深さを大切に、漢字教育も意識して漢字を採用しました。なお、子供たちも成長に伴って、いずれは解ってもらえることを願い、難しい漢字にはふりがなをつけました。

詩的表現

以上のことを比較的短く、格調高く、詩的に詠い上げました。

霧島市民憲章

霧島の ^{ゆうきゆう}悠久のとき ^{はぐく}育みて
伝統・文化を未来へつなぐ

はるかな縄文の歴史、神話に彩られた霧島の地
私たちは歴史に根ざした伝統と、育まれた文化を学ぶことで
郷土を愛する心と、豊かな感性を未来へとつないでいきます。

凛とした ^{りん}霧島人の ^{びと}友好は
世界に広がる 交流の和

国際空港を持ち、南九州からアジア・世界の空へ、
霧島市は国際交流の拠点として、世界へ交流の和を広げていきます。
その交流の主役の霧島市民は、凛とした人々でありたい。

しなやかな ^{きずな}心と絆 ふれあいで
笑顔・安心 ふるさと創り

今日の社会が失いつつあるといわれる、柔軟で奥ゆかしく強い心と
社会の連帯、地域の絆を再構築し、多くの人々のふれあいの中から
生まれる笑顔と安心社会。そんなあったかいふるさとの再生をめざ
します。

まもり抜く 豊かな自然 共生の
^{とわ}永遠に誇れる ^{ほこ}美しき里

私たちの霧島は日本最初の国立公園指定の地です。この霧島山系を
源とする清流天降川を中心とした豊かな自然を守り育て、共生の理
念の基に子々孫々に誇れる美しいふるさとを創ります。

信じあう 調和と ^{きょうじょ}共助で 約束す
^{かがや}輝く ^{あした}明日を 霧島の地に

信じあえる社会、それは自立した市民の奏でる協調、共助のハーモ
ニーです。私たち霧島市民はこの霧島の大地に、輝かしい明日を創
りつづけることを、約束します。